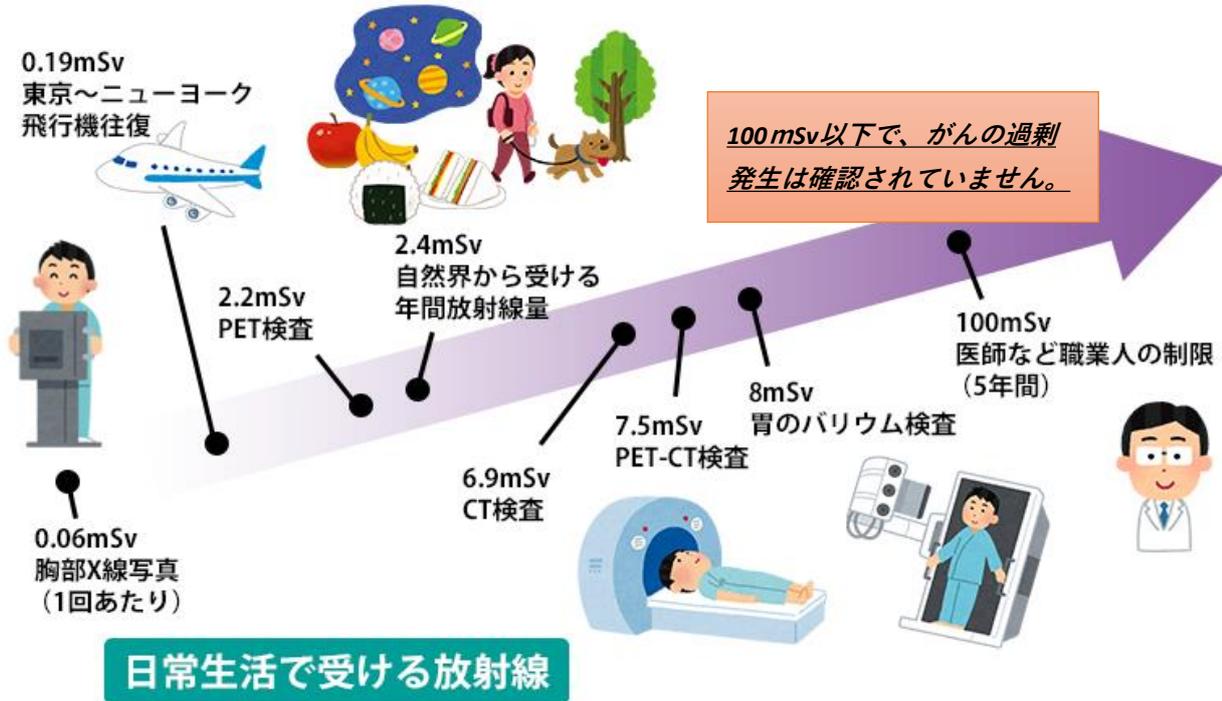


北出病院では

**各種放射線検査ごとにガイドラインとの比較を行い
医療被ばくの最適化に取り組んでいます。**



X線を用いた検査は病気の早期発見や治療効果の確認ができるというメリットがあります。

放射線を受けることで体のがんができやすくなると不安に思われている方もいると思われます。実際には、**100mSv以下の放射線を受けてもがんの過剰発生は確認されていません。**

また、1回のレントゲンや単純CTなどの基本検査では実効線量で100mSvを超えるような検査はないため、安心して検査を受けていただけます。

※北出病院では検査目的や体格に合わせて撮影条件を設定しており、可能な限り被ばく線量を低減しています。

また、国内ガイドラインと比較しても低被ばくで検査を受けて頂けます。

放射線の線量とは？

各臓器・組織における吸収線量：Gy

- 放射線から臓器、組織の各部位において単位重量当たりどれくらいのエネルギーを受けたかを表す物理的な量です。

実効線量：Sv

- 臓器、組織の各部位で受けた線量を、がんや遺伝的影響の感受性について重み付けをして全身で足し合わせた量で、放射線防護に用いる線量です。

実効線量：Sv = 吸収線量 × 放射線加重係数 × 組織加重係数

気になることがあれば放射線科スタッフにお気軽にお申し出ください。

